



脳・身体とヒューマンインタフェース デザインの未来

これからの脳・身体とヒューマンインタフェースデザインは、いかにあるべきだろうか？
ブレインマシンインタフェース(BMI)、脳疾患、運動学習、ユニバーサルデザインを例に、
最先端で活躍中の講師により、これからの人間と人間、人間と機械の
つながり方はどうあるべきなのかをご紹介します。

日時:2009年10月3日(土)12:30~18:00
場所:慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館DB201
入場無料・事前申込不要

12:30-12:40 「開会にあたって」
慶應義塾 常任理事 **真壁 利明**

12:40-13:00 「人間知性研究センターが目指すもの」
慶應義塾大学文学部教授 人間知性研究センター長 **渡辺 茂**

13:00-14:00 **基調講演「脳の計算理論とBMI」**
株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報研究所所長 **川人 光男**

14:10-14:50 「BMIが拓くりハビリテーション医療の可能性」
慶應義塾大学工学部生命情報学科 専任講師 **牛場 潤一**

14:50-15:30 「BMI:ヒトをつなげる新技術」
独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター
適応知性研究チーム チームリーダー **藤井 直敬**

15:40-16:20 「神経筋骨格系の構造変化と身体運動の学習・進化」
慶應義塾大学工学部機械工学科 専任講師 **荻原 直道**

16:20-17:00 「脳深部刺激とパーキンソン病」
慶應義塾大学医学部脳神経外科 准教授 **大平 貴之**

17:10-17:50 「障害児・者の生活を支えるアシスティブ・テクノロジー」
慶應義塾大学経済学部 教授 **中野 泰志**

17:50-18:00 「人間知性研究センターのこれから」
独立行政法人理化学研究所 脳科学総合研究センター
象徴概念発達研究チーム チームリーダー **入來 篤史**

■主催:
慶應義塾大学
人間知性研究センター
■共催:
○独立行政法人
理化学研究所
脳科学総合研究センター
○慶應義塾大学
グローバルCOEプログラム
「環境共生・安全システム
デザインの先導拠点」
「幹細胞医学のための
教育研究拠点」
「論理と感性の
先端的教育研究拠点」
○慶應義塾大学システム
デザイン・マネジメント研究所
■コーディネーター:
慶應義塾大学システム
デザイン・マネジメント研究科
教授 前野 隆司

お問合せ:
慶應義塾大学
人間知性研究センター
事務局
〒108-0073
東京都港区三田3-1-7
三田東宝ビル2階
E-Mail: human-
cognition@adst.keio.ac.jp